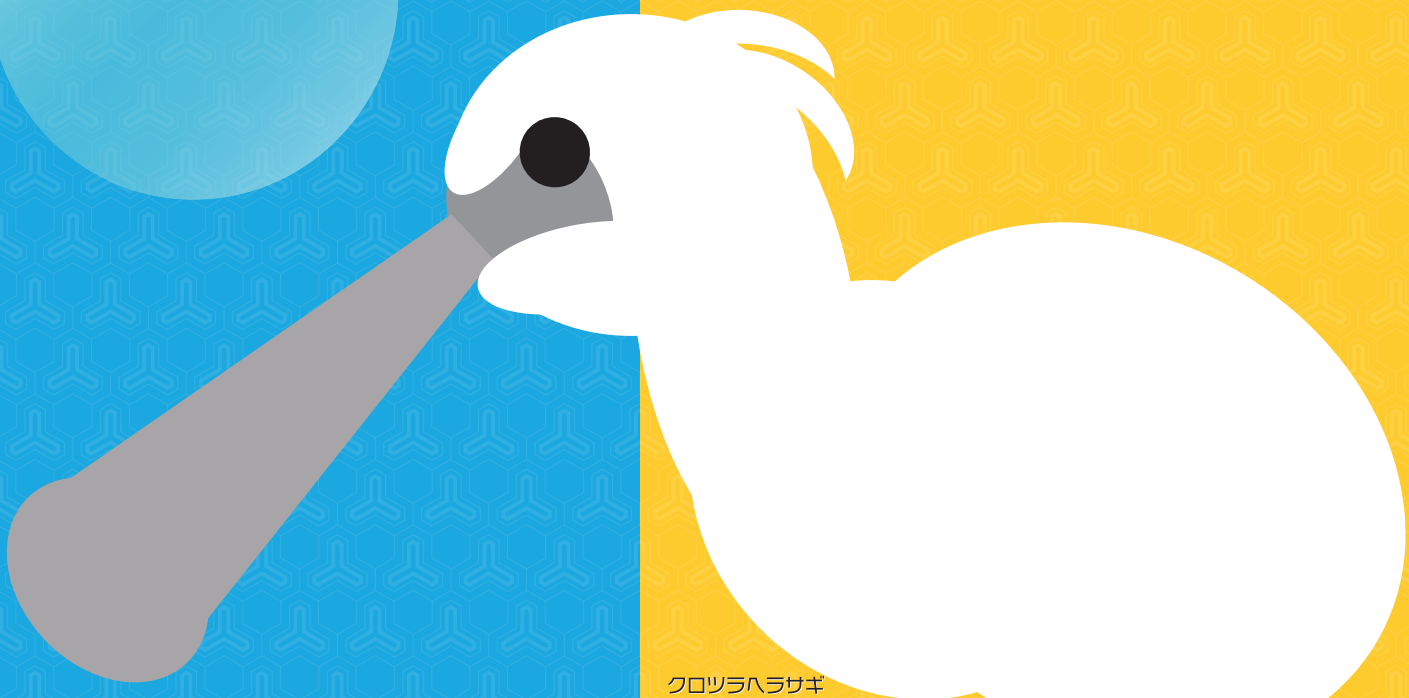
岩手県立博物館 令和四年度テーマ展

水辺の生きもの



クロツラヘラサギ

2022.9.23 金・祝 ― 12.4 日

主催：岩手県立博物館・公益財団法人岩手県文化振興事業団　会場：岩手県立博物館 特別展示室

岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM

水辺の生きもの

かんたん解説

第１章　河川

上流部は流れが速く、山地のささやかな小川が集まって**渓流**が生まれます。ここにはニホンカワトンボなど特有の昆虫類やカワガラス・ヤマセミが生息します。

中流部は流れがゆるやかで、浅瀬には小石が溜まった**礫河原**ができます。ここには強い日差しや増水に強いカワラハハコ・ムシトリナデシコなどの草花が育ちます。

ニホンカワトンボ

カワラハハコの群落

第２章　自然湿原

高山や里地に残る湿原はスゲ類など丈の低い草やミズゴケ類が広がり、地面はじわっと湿って水たまりが点在します。今ではあまり見ることができなくなったハッチョウトンボなど昆虫類、クマドリハエトリなど珍しいクモ類、サギソウなどの可憐な草花が生き残っています。

ハッチョウトンボ

クマドリハエトリ

サギソウ

第３章　水田

水辺の生きものにとって水田は、春～夏はイネが茂って地面に水が溜まった**湿った草原**で、秋～冬はイネが刈り除かれて水も無い**乾いた裸地**です。小動物（昆虫類・甲殻類・貝類など）・カエル類・ネズミ類や藻類・雑草・イネ（米）など多くの生きものが暮らし、それらを食べに多くの鳥類が集まります。**ケリ**は水田で営巣できる特別な鳥で、早春の乾いた水田で卵を温め、初夏の湿った水田でヒナを育てます。

早春の水田で営巣するケリ

夏の水田とアオサギ

稲刈後に落穂を食べるオオハクチョウ

第４章　岩手の両生類

キタオウシュウサンショウウオ

トウキョウダルマガエル

岩手県内には有尾類（サンショウウオ類・イモリ類）**４種**と無尾類（カエル類）**12種**が分布します。

トウキョウダルマガエルは岩手県中南部から関東地方までの範囲だけに生息し、水田や溜め池で多く見られます。

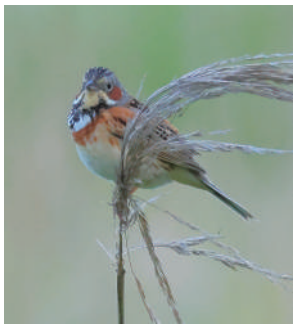
第５章　湖沼

山地や低地にある大小の湖沼や溜め池は水生の生きものの大切な生息場所で、それらを求めて多くの水鳥が集まります。秋から春にかけては、北方から飛来したカモ類・ガン類・ハクチョウ類などの**越冬地**や**渡り中継地**になります。

盛岡市高松の池に集まるカモ類・ハクチョウ類

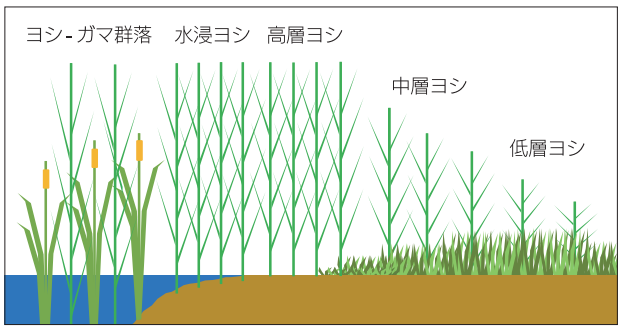
第６章　ヨシ原

河川や湖沼の岸・沼地・耕作放棄田に広がるヨシ原は、ヨシの背丈や密度、下草の量、水の深さなどの違いによって、いくつかの**植生タイプ**に分かれます。それぞれの**植生タイプ**には、それに適応した生態を持つ生きものが暮らしています（例えばコヨシキリは中層ヨシを好みます）。たくさんの**植生タイプ**が混在するヨシ原では、多種多様な生きものを同時に見ることができます。



ホオアカ

コヨシキリ



ヨシ原の多様な植生構造

第７章　河口・干潟

河川が海へつながる河口には、砂や泥が溜まった干潟が広がります。表面や内部には、小さな**藻類**やゴカイ類・貝類などの**小動物**がたくさん生息し、栄養塩や有機物を吸収して**水を浄化します**。それらを目当てに、カニ類やアナジャコ・小魚などが集まり、さらにシギ類・チドリ類など多くの渡り鳥が秋～春に飛来します。クロツラヘラサギはしゃもじのような嘴を泥水の中で振り回し、先に触れた小動物を捕まえます。

アナジャコ

クロツラヘラサギ

第８章　岩手県立博物館の最新研究

高松公園芝水園（盛岡市）のヨシ原は、クイナやオオヨシキリなど水辺で暮らす鳥類の貴重な繁殖地や越冬地です。現在は乾燥化・樹木の侵入・外来植物の拡大などでヨシ原の状態が悪化し、夏鳥のコヨシキリやヨシゴイが飛来しなくなりました。環境保全の基礎となる「生きもの生息確認調査」を当館で実施しています。

春子谷地湿原（滝沢市）は岩手山麓に残る貴重な自然湿原で、ゴマシジミなどの昆虫類・ババハシリグモなどのクモ類・トキソウやモウセンゴケなどの草本類が多数生息します。当館の調査で、近年増加するニホンジカやイノシシが侵入して荒らしていることが判明しました。湿原を護っていくために、「生きもの生息確認調査」と大型獣の侵入状況調査を実施しています。

高松公園芝水園のクイナ

春子谷地湿原に現れたニホンジカ

関連事業　※詳細は当館ホームページにてご確認ください。

● 日曜講座・文化講演会・特別講演会：当館講堂　当日受付・聴講無料

「岩手の水辺の生きもの：特に野鳥について」
日 時：2022年9月25日（日）13：30～15：00
講 師：髙橋 雅雄（当館学芸員）

「南半球のマングローブ林での鳥類研究：カッコウ類と宿主の軍拡競争」
日 時：2022年10月23日（日）13：30～15：00
講 師：上田 恵介 氏（日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授）

「水辺に棲む『その他の無脊椎動物』と環境」
日 時：2022年11月3日（木・祝）13：30～15：00
講 師：松政 正俊 氏（岩手医科大学教授）

「岩手の水辺のクモ・トンボ」
日 時：2022年11月13日（日）13：30～15：00
講 師：渡辺 修二（当館学芸員）

「岩手の水辺の植物について～春子谷地を中心に～」
日 時：2022年11月27日（日）13：30～15：00
講 師：鈴木 まほろ（当館学芸員）

● 展示解説会：当館特別展示室　当日受付・要入館料

日 時：2022年９月23日（金・祝）・10月９日（日）
各回とも 14：30～15：30
定 員：先着15名

● 第84回自然観察会：盛岡市高松公園　事前申込

「ハクチョウとカモ類を観察しよう」
日 時：2022年11月23日（水・祝）10：30～12：00
講 師：髙橋 雅雄（当館学芸員）

利用のご案内

● 開館時間

9：30～16：30（入館は16：00まで）

● 会期中の休館日

2022年９月26日（月）
10月３日（月）・11日（火）・17日（月）・24日（月）・31日（月）
11月７日（月）・14日（月）・21日（月）・28日（月）

● 入館料

一般 310円（140円）・学生 140円（70円）・高校生以下無料
※（　　）内は20名以上の団体割引料金

・学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は申請により入館料免除となります。
・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。
・岩手県子育て応援パスポート所持者で、パスポートに記載のあるお子様とご一緒に来館された場合、入館料免除となります。

● 交通のご案内

●お車をご利用の場合
東北自動車道　盛岡ICから約30分　滝沢中央スマートICから約20分
滝沢ICから約20分

●路線バスをご利用の場合
盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば（旧ななっく前）発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗車、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。
「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

岩手県立博物館
IWATE PREFECTURAL MUSEUM
〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
TEL 019-661-2831 FAX 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/